

(様式4号)

まちづくりアドバイザー派遣結果報告書

令和 6年 12月 7日

茨城まちづくりセンター
運営委員長 殿

報告者(主催者) 氏名 特定非営利活動法人ちゃんみよTV
理事長 綾部 みよ

まちづくりアドバイザー派遣制度運営要項第6条の規定に基づき、次のとおり報告します。

実施日時	2024年11月17日(日) 13:00-14:00
主催者の名称	名称 NPO法人ちゃんみよTV
講演会等の名称	茨城弁でつながる!地域活性化ワークショップ ~楽しみながら地域の絆を深めよう~
アドバイザー氏名	青木 智也 氏
実施場所	会場名 やっぺやっぺ広場
参加者数	300 名
講演内容(具体的に詳しく記入して下さい。) 【演題】茨城弁を活用した地域活性化(入門編) 【内容】今回のイベントは、茨城県牛久駅前どんどん祭りの「イバラッパーステージ企画」として開催され、地域文化である茨城弁を活用し、家族や地域住民同士の交流を深めることを目的とした内容でした。 イベントの最初は、青木智也氏(まちづくりアドバイザー)と司会者によるトークセッションで幕を開けました。「なぜ家族の日にまちづくりを考えるのか」というテーマのもと、青木氏が昨年度実施したまちづくり塾の成果を共有し、その集大成として位置付けられる今回のワークショップの意義について語りました。また、家族が地域社会で果たす役割や、家族単位での地域貢献の大切さについても具体的なエピソードを交えて解説し、参加者にとって考えるきっかけとなりました。 続いて行われた茨城弁を活用した家族参加型のゲームでは、参加者が笑顔を浮かべながら楽しく取り組む姿が印象的でした。 1. 家族対抗!茨城弁伝言ゲーム 家族3人1組で、茨城弁を正確に伝言していくゲームです。茨城弁特有の言い回しや意味の解釈に戸惑いつつも、笑顔でチャレンジする姿が多く見られ、家族の協力を感じられる時間となりました。 2. 家族対抗!牛久といったらゲーム 「牛久で●●といったら」というお題に対し、家族全員が答えを揃えるクイズ形式のゲームです。地元の話題で盛り上がり、参加者は牛久市に対する思い出	

や親近感を改めて感じる場面が多くありました。

3. 全員参加！茨城弁リスニングゲーム

茨城弁のフレーズを聞き取り、その意味を答えるゲームでは、会場にいる参加者同士が笑顔で交流する姿が見られ、会場全体に一体感が生まれました。茨城弁の持つ面白さと親しみやすさを体感する機会となりました。

感想など

今回のイベントは、地域文化である茨城弁を活用することで、家族や世代を超えた交流を促進し、地域コミュニティの絆を深める成功事例となりました。特に以下のような成果が挙げられます。

1. 地域文化への愛着の再発見

茨城弁を活用したゲームを通じて、茨城弁に対する親しみや新たな発見を得る機会となりました。若い世代からは「茨城弁は馴染みがないけれど面白かった」という声があり、シニア世代からは「懐かしい気持ちになった」との感想が聞かれました。世代による感じ方の違いを共有する中で、地域文化を改めて見つめ直す場となりました。

2. 家族間の絆強化

家族で協力して取り組むアクティビティを通じ、自然とチームワークが生まれました。「子どもと、こうして一緒に楽しめて良かった」という感想が印象的で、普段は得られにくい家族のふれあいの時間を提供することができました。

3. 地域住民同士の交流促進

全員参加型のゲームでは、地域住民同士が茨城弁を通じて交流し、新たなコミュニケーションのきっかけとなりました。地域文化を媒介として笑顔で触れ合うことで、日常では得られないような一体感を感じられる場となったようです。

【まとめ】

茨城弁を活用した今回のイベントは、地域文化の魅力を再発見し、家族や地域住民同士の絆を深める非常に有意義な内容でした。このようなイベントを通じて、地域への愛着や誇りを育むことができ、持続可能なまちづくりに寄与することが期待されます。

<当日の様子>

